子どもの居場所新聞

2023年8月
発行者
有倉花

近年、「子ども食堂」や「子ども学習の場」など家でも学校でもない「第三の居場所」として子ども達に食事や居場所を提供する取り組みが広がっています。私は、北斗市にあった「しゅくだいカフェ」に通っていました。今年の3月末で休館になってしまいましたが、そこでたくさんの経験をさせてもらい、自分も安心して過ごせる大切な場所でした。そこで、私の住む地域にはどのようなこどもの居場所があるのかを知りたいと思い、調べてみることにしました。

子どもの居場所ってどんな所!?

行きたい　やってみたい　居たい

➡子どもが一人でも立ち寄れる安心して利用できる居場所です!

◎地域で子どもを育て、見守る場

地域の子ども達に居場所を提供し、食事やだんらん、学習支援、多世代交流など様々な経験の機会を提供するなど、地域全体で子どもを育てる場です。

◎時間を共有する場

居場所に集う人とともに、安心して過ごすことのできる時間と空間を共有することにより、子どもが自分らしくいられる場になります。

◎多世代交流・体験活動の場

子ども達が学年のちがう仲間や大人たちと一緒に遊び、さまざまな体験を通した交流など、つながりを深めます。屋内施設、屋外体験活動、訪問による体験交流の場などがあります。

北斗市にある「子どもの居場所」

① 地域食堂まんまる 子ども食堂
(いつ) 毎月1回土曜日
(どこで) 広徳寺・かなで〜る
(料金) 200円 (企業からの寄付がある場合→無料)

② 七重浜子ども食堂
(いつ) 毎月1回
(どこで) 発酵カフェhapo(ハポ)
(料金) 中学生まで無料
↳(現在休館中)

③ しゅくだいカフェ
(いつ) 平日15:00〜18:00
(料金) 完全無料

☆各地で「子どものために何かしたい」という人たちの強い思いと、各地域の資源の状況に応じて多様な取組が行われています。

地域食堂まんまる 子ども食堂 インタビュー

代表 高橋佑実さん

地域食堂まんまるは、北斗市で子ども食堂や食料無料配布の活動を行っています。代表の高橋佑実さんは、「高齢者から子どもまで一緒に楽しくご飯を食べたい」という思いからこの活動を始めたそうです。「まんまるにはお年寄りから子どもまでみんなでまるくなって食べようという願いがこめられています。

高橋さんは、初めて会った地域のおじいさんと子どもが楽しく遊ぶ姿を見た時や子どもから笑顔や元気をもらう時にこの活動をやってよかったと思うとお話しされていました。

子ども食堂に参加しました!

◎11:30 集合・準備
少し早く行き、リンゴの皮むき手伝い。

◎12:00 いただきます。
〈メニュー〉
・ぎょうざ弁当
↳「ぎょうざの王将」さんからの提供。
・デザートなど

◎12:45 みんなで協力 ごちそうさま・後片付け

◎13:00 外で「モルック」をして遊ぶ。

◎14:00 解散。

みんなのすきな場所 しゅくだいカフェ

宿題や自学をすませたら、自由に過ごせる小学生の居場所です!

〜たくさんのことに取り組みました!一部を紹介します〜

①未来の地球を守るための活動

・フードロス削減 (SDGs)
→食材提供を受けてのおやつ作りなど
・海の豊かさを守ろう!「海岸クリーン作戦」

3年間でゴミ袋(45L) 217個分を拾いました!

②さまざまな体験教室

テーマ「将来の夢を叶える」、「津波先生になろう」、「地元の鉄道まるごと体験」、「街たんけん」など。

③子ども会議

→自分の未来、自分の住む地域環境について考えました。

④多世代交流

・地域のお年寄りや、学生ボランティアとの交流(学習支援・遊び)

⑤子ども食堂

・地域の飲食店や企業による食材提供、料理教室など。

本谷さん

「しゅくだいカフェ」最後の日に。大好きなスタッフの本谷文子さんと

「しゅくだいカフェ」私の想い!

勉強や遊びだけではなく人とのふれあいやたくさんの体験活動を通して、問題解決のために考えて行動する力を育ててもらいました。また信頼できる大人や仲間と出会えたことも私の大切な宝物になりました。

函館市の「児童館」を見学しました!

隣の函館市には24の児童館や児童センターがあり、子どもなら誰でも自由に来館できます。

私が見学した亀田港児童館は一日に25〜50人の利用があり、体育館でのスポーツやビーズ作り、読書など、自由に遊ぶことができるそうです。館長の坂本さんは、「公園と同じようにいつでも誰でも来られる居場所の一つでありたい」とお話しされていました。

編集後記

「子どもの居場所づくりのために多くの方々が関わってくださっていることを知り感謝の気持ちが強くなりました。また居場所の運営には活動場所や食材、スタッフ資金の確保が課題であることもわかりました。私も将来、子どもが安心して過ごせる居場所づくりに関わっていきたいです。